

帰宅困難支援に重点 大成ロテック

大成ロテックは、大規模災害対策訓練を全国の拠点で実施した「写真」「帰宅困難者等の支援体制確立」をテーマに、国内の各事業所で最も被害が甚大となる災害が発生したことを想定。帰宅困難者などに関する情報収集、一時滞留



する役職員の社内での宿泊スペースの確保、備蓄品の配布や衛生環境の構築など、帰宅困難者などが安全にとどまれる環境を整備する訓練を行った。同社とグループ会社の社員1671人が参加した。

東京都新宿区の本社では、全ての社員に配布している防災キットを新しいものに交換した。防災食品の使用法や味を体験するため、備蓄用防災食品の一部を社員に配布した。非常用通信機器を使った本支社間での通信訓練や、従業員の安否確認訓練、外部有識者による防災セミナーも行った。

加賀田健司社長は「大規模災害の発生時、特に大都市では相当数の帰宅困難者の発生が予想される。訓練で認識した課題を検討し、いかに社員の命を守るかを念頭に置き、日頃からしっかりとコミュニケーションをしてほしい。レジリエンスな社会づくりを目指し、今回の訓練を良い形で役立ててほしい」と総括した。

